

○合衆国軍隊の構成員，軍属又はそれらの家族の犯罪事件簡易送致要領の制定について（通達）

令和4年4月12日

警察本部長

各部長・参事官

各所属長

広島地方検察庁検事正から，刑事訴訟法（昭和23年法律第131号）第193条第1項の規定に基づき，合衆国軍隊の構成員，軍属又はそれらの家族の犯罪事件の送致手続の特例について（令和4年3月31日付け広地刑第15号）により指示があったため，みだしの要領を別添のとおり定め，令和4年4月12日から施行することとしたので，部下職員に周知徹底し，事務処理上誤りのないようにされたい。

別添

合衆国軍隊の構成員，軍属又はそれらの家族の犯罪事件簡易送致要領

第1 目的

この要領は，合衆国軍隊の構成員，軍属又はそれらの家族（以下「合衆国軍隊構成員等」という。）の犯罪のうち，簡易送致手続を執ることができるものの処理について，必要な事項を定めることを目的とする。

第2 簡易送致手続をなし得る事件

簡易送致手続をなし得る事件は，次のとおりである。ただし，被疑者が18歳に満たない少年であって罰金以下の法定刑に当たる犯罪事件を除く。

1 日本国の法令によって6月以下の懲役以下の刑に当たる罪

2 次に掲げる罪

(1) 住居侵入（刑法（明治40年法律第45号）第130条。ただし，実力をもって，制止に反して又は暴力によって行われた場合を除く。）

(2) 公然わいせつ（刑法第174条）

(3) 暴行（刑法第208条）

(4) 傷害（刑法第204条。ただし，7日以上の加療を必要とする身体の傷害がじゃっ起された場合を除く。）

(5) 被害額が5,000円以下の窃盗等財産に関する犯罪（刑法第235条，第246条，第252条及び第254条に当たる罪で被害額が5,000円以下のもの）

(6) 盗品譲受け等に関する罪（刑法第256条に当たる罪で，価額が5,000円以下のもの）

- (7) 私有財産毀損又は破壊で、被害額が5,000円以下のもの（刑法第260条及び第261条に当たる罪で被害額が5,000円以下のもの）
- (8) 酒酔い運転（道路交通法（昭和35年法律第105号）第117条の2第1号）
- (9) 秩序を乱す行為（軽犯罪法（昭和23年法律第39号）第1条）
- (10) 5,000円以下の債務の支払を故意に怠った行為（刑法第246条に当たる罪で被害額が5,000円以下のもの）
- (11) 前(1)から(10)までに掲げる犯罪の未遂行為で、日本国の法令によって犯罪となるもの

第3 簡易送致手続要領

- 1 簡易送致書は、別記様式第1号のとおりとする。
- 2 前1の送致書には、合衆国の当局に対して発した当該事件に関する別記様式第2号の犯罪通報書の写しを添付するものとし、当該事件が合衆国の当局から通告されたものであるときは、その通告書を添付するものとする。
- 3 前1の送致書は、遅くとも前2の犯罪通報書を発し、又は通告書を受け取った日の翌日に検察庁に到達するように発送するものとし、その到達が不可能と認められるときは、その旨を直ちに適宜の方法により検察庁に連絡しなければならない。
- 4 送致手続の特例に関する件（昭和25年8月1日付け広島地検発第1931号）は、合衆国軍隊構成員等の犯罪事件については、適用されない。

(別記)

様式第1号(第3関係)

関		主任検察官	
合衆国軍隊構成員等の犯罪事件簡易送致書			
送 () 第 号 年 月 日			
検察官		検察庁 殿	
		警察署 司法警察員	
下記被疑事件を送致する。			
検 番 号		検 第 号	
罪 名 , 罰 条			
被 疑 者	国 籍		
	所属部隊又は住居		
	階 級 又 は 職 業		
	氏 名		
	年 月 日生 (歳) 性別		
	社会保障番号又は 身分証明書番号		
続 柄			
犯 罪 事 実 (日時・場所・ 方法・被害等)			
発 覚 の 端 緒			
犯 罪 の 動 機			
情 状			
身柄その他の処置			
意 見			

(注意) 1 本書には、犯罪通報書(写し)又は合衆国の当局からの通告書を添付すること。

2 身柄を引き渡した場合には、「逮捕被疑者引継書」を添付すること。

様式第2号(第3関係)

No. _____					
合衆国軍隊構成員等による犯罪の通報					
1 通報先					
2 通報者					
3 通報年月日					
被 疑 者	氏名				
	国籍		性別		年齢
	社会保障番号又は身分証明書番号		階級又は職業		
	所属部隊名又は住居				
犯 罪	罪名(罰条)				
	犯罪の区別	軽微犯 (Minor Offense) 重要犯 (Major Offense)			
	被疑事実の概要				
拘 禁	逮捕年月日				
	留置の場所				
	留置機関				
備考					
注 意					
一、被疑者の氏名及び部隊名は、英文を併記すること。 二、身柄を引き渡したものについては、その年月日を「備考」欄に記入すること。 三、任意捜査によるものについては、「拘禁」欄を空欄にし、「備考」欄にその旨を記入すること。					

(参考 記入上の注意)

- 「犯罪の区別」欄中軽微犯は、日米合同委員会における「刑事裁判管轄権に関する合意事項」第40項Aに該当する犯罪、重要犯は、同合意事項第40項Bに該当する犯罪であること。
- 「犯罪の区別」欄は、軽微犯・重要犯の両者のうちで非該当を横線で抹消すること。
- 「備考」欄に本通報の取扱責任者及び本通報を受領した者の氏名を明らかにしておくこと。

別記様式第1号 (第3関係)

様式第2号 (第3関係)